

リニア推進特別委員会の調査研究方針について

1 調査研究における重点事項

2年後の政策提言に向けて、リニア推進特別委員会が調査研究を進めるにあたり、以下を重点事項とし、執行機関のタイムスケジュールと連動しながら委員会活動を進める。

(1) リニア駅周辺整備事業の実施設計について

令和4年3月の策定を目指して執行機関が準備を進めているリニア駅周辺整備事業の実施設計について、市議会、地元のみならず広域及び伊那谷自治体会議に参画する自治体、住民など、幅広い皆さんからの意見を聞く機会を設けて、ハードとソフトの展開及び事業費の見通しを明らかにし、持続可能な運営形態についての研究を進める必要がある。

(2) 3つのプロジェクトの進捗状況について

リニア駅周辺整備事業の実施設計検討体制における、①次世代インフラPJ、②トータルデザインPJ及び③ブランドクリエイティブPJの3つのプロジェクトについて、コロナ禍の影響をふまえつつも、現在の進捗状況を把握し、方向性を明らかにする必要がある。

(3) 乗り換え新駅について

市長の「乗換新駅を建設しないことも含めて検討する」とする方向性は理解できるが、乗換新駅の設置の要否の判断基準及び内容を含めて、根拠を明らかにするとともに、JR飯田線とリニア中央新幹線との接続方法についての調査研究を進める必要がある。

2 執行機関への依頼事項

上記の重点事項の調査研究を進めるにあたり、事業の進捗状況を含めた執行機関のタイムスケジュールを、適時提供願いたい。